学校番号	３０１

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「日本史Ａ　改訂版」（山川出版社）						
副教材等	歴史資料館日本史のﾗｲﾌﾞﾗﾘｰ(東京法令出版)・改訂版詳録新日本史史料集成（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・重要語句の暗記で終わることなく、各事象の因果関係についても理解することが大切です。
・資料集を活用する習慣をつけてください。地図、年表で空間、時間のつながりを把握することが入試対策においても重要となります。

２　学習の到達目標

我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる市民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する市民としての責務を果たそうとする。	歴史的事象から課題を見いだし、日本及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート 観察等	定期考査 ワークシート 観察等	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
一学期	開国と明治維新・立憲国家の成立	アジアの激動と日本の開国	○	○	○		a:高い関心を持ち、意欲的に追及しようとしている。 b:多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 c:必要な諸資料を適切に活用している。 d:近現代の基本的事柄を各時代の政治・文化などと関連付けて理解している。	定期考査 ワークシート 観察等
		江戸幕府の滅亡		○		○		
		明治維新	○		○	○		
		富国強兵		○	○			
		明治初期の外交	○		○			
		殖産興業と文明開化		○		○		
		自由民権運動	○	○	○			
		立憲政治の展開	○			○		
		日清・日露戦争	○	○	○			
		産業革命と社会の変容		○	○			
		明治の文化			○	○		

二学期	第一次世界大戦と日本・昭和の恐慌と満州事変	政党政治の展開	○	○	○		a:高い関心を持ち、意欲的に追及しようとしている。 b:多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 c:必要な諸資料を適切に活用している。 d:近現代の基本的事柄を各時代の政治・文化などと関連付けて理解している。	定期考査 ワークシート 観察等
		ワシントン体制	○		○			
		経済・社会の変容		○		○		
		市民文化			○	○		
		恐慌の時代	○	○				
		政党内閣期の内政と外交	○	○		○		
		軍部の台頭		○	○			
	第二次世界大戦と日本	日中戦争		○		○	a:高い関心を持ち、意欲的に追及しようとしている。 b:多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 c:必要な諸資料を適切に活用している。 d:近現代の基本的事柄を各時代の政治・文化などと関連付けて理解している。	定期考査 ワークシート 観察等
		重化学工業化と統制経済	○	○				
		第二次世界大戦と太平洋戦争	○	○	○			
三学期	占領下の日本・経済繁栄と保守長期政権・現代の世界と日本	占領と改革	○	○	○		a:高い関心を持ち、意欲的に追及しようとしている。 b:多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 c:必要な諸資料を適切に活用している。 d:近現代の基本的事柄を各時代の政治・文化などと関連付けて理解している。	定期考査 ワークシート 観察等
		冷戦の開始と講和	○	○		○		
		55 年体制		○	○			
		高度経済成長期の経済と社会	○	○		○		
		冷戦の終結と日本	○	○				
		日本社会の動揺		○		○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○を付けている。